

B群・大学院の充実と将来発展に関わる事務局としての企画・立案機能の適切性

本研究科は、専門職大学院事務室と本研究科合同研究室のサポート体制を設けている。専門職大学院事務室には専任職員8名とパートタイム職員2名の計10名の職員が学生への教務サービスを提供している。また、合同研究室の学科嘱託職員2名とパートタイム職員2名の計4名の職員が学生教育支援活動と学生教育助言活動を提供している。本研究科事務組織は、夜間や土曜日の授業の割合が多く、通常の授業に加えて海外からの招聘教授による授業、産業界トップマネジメントによる特別講義など、他の学部授業にはない多様な教員にも対応する必要がある。さらに、学生も社会人学生、外国人留学生の割合が高く、事務組織に持ち込まれる相談も多岐にわたるため、よりきめ細かい誠実な対応が求められている。とくに、外国人留学生の奨学金等の相談、社会人学生の人事異動などに伴う休学・復学の対応などは本研究科では特に問題解決には時間を要することも多い。

また、最近はパソコンやインターネットを利用した授業や海外からの遠隔授業など技術的な支援が必要な授業も増えており、適宜パートタイム職員を割り当ててその運用に当たっている。

B群・大学院に関わる予算（案）編成・折衝過程における事務組織の役割とその適切性

予算編成及び折衝は、教授会ならびに執行委員会を補助する形で各種データの収集や資料準備、関係部門との調整作業を行っている。

B群・大学院運営を経済面から支えるような事務局機能の確立状況

経営面における支援体制は、教授会ならびに執行委員会を補助する形で各種データの収集や資料準備、関係部門との調整作業を行っている。とりわけ、入試及び入試説明会、ホームページなど広報宣伝活動、在校生向けの就職情報の提供、在校生向けのオリエンテーションの実施、海外の大学を招聘した東京セミナーの実施、中国の大学・産業界との交流を行う上海セミナーの実施など多くのイベントの企画・運営について事務組織が重要な役割を果たしている。今後多様化する学生に対応し、研究

1. 国際マネジメント研究科

科のミッションを遂行する上でも事務組織の更なる充実が必要とされる。